

News

生ハムパーティー

学生実験も無事に終え、また、梅雨入りし雨の日や暑い日が続いているが、研究室ではいくつかのパーティーが開催された。

生ハムパーティーの始まりは学生実験の打ち上げ中に突如生ハムの原木が購入されたことである。



真剣に生ハムをカットする安井悠人(M2・左)とつまみ食いをする田中僚(M2・右)

生ハムの原木とは塩漬・乾燥し熟成した骨付き肉のことで、常温保存で半年ほど持つと言われている。こちらの生ハムを消費するべく、生ハムに合いそうな料理を作り、生ハムと言えのワインと共にパーティーが行われた。



生ハムパーティーの料理と様々な種類のワイン

ちなみに現在でも生ハムとワインの残りが研究室に鎮座している。

たこ焼きパーティー

とある日の昼に、たこ焼きパーティーが行われた。4月のおでん会で余らせていたおでんの素を出汁として使用したが、とても美味しくできた。



たこ焼きを回している(左から)小池亜由梨(B4)、木下有紀(B4)、畑田一成(B4)、織井悠樹(M1)

具材はタコだけでなくウィンナーやチーズ、キムチ、さらにはチョコレートなどもあった。ロシアンワサビをする際のワサビの量には気を付けて欲しい。



完成したたこ焼きと奥でワサビを仕込む柏原正宗(M1)と田中(M2)

フリートークスペース

今月のフリートーク担当はB4の赤松佳歩です。マイブームの原稿は却下になったので、夏フェスについて紹介してくださいました。

こんにちは、B4赤松です。書くことがない、めんどくさい！と渋っていたら締め切り2日前になっていました。締め切りに追われる作家の気分です。最近のマイブームについて書いたら書き直しになったので、この土日に行った夏フェスのことについて書きたいと思います。7月15日・16日に二日間夏フェスがありました。私はバンドが好きでよくライブに行くのですが、その中でもよく行く心斎橋BRONZE(ブロンズ)というライブハウスが主催している夏フェスです。クリエイティブセンター大阪で行われたのですが、ここは名村造船所大阪工場跡地で国の近代化産業遺産になっている場所です。



夏フェスと言っても野外ステージと屋根がついた吹きさらしの半野外ステージが1つずつ、そして屋内ステージが3つという比較的暑さをしのげる夏フェスですが、普通にめちゃくちゃな暑さと酒でダウンしました。体力の衰えを感じました。あとめちゃくちゃ日焼けして腕が高校生なみに黒くなってしまいました。悲しいです。でもなんか好きなバンドがかっこよかったの

で非常に良かったと思っています。

私がこのフェスで一番楽しみにしていたバンドはジ・エンプティというバンドです。福岡のバンドなのですが、2年前にブロンズで偶然出会ったバンドです。そのときは、客は私しかいなかったのに、今回は2番目に大きいステージをパンパンにしていってとても感動しました。

最後に、このフェスの醍醐味は関西屈指のライブハウスが主催しているということもあり、各地から老若男女が集まるということです。ライブハウスにあまり来なくなってしまった友達も、遠くに住んでいてなかなか会えない友達も、久しぶりに全員集合していてうれしかったです。なんかうれしくて友達の後ろ姿撮ったらかわいかったです。いやー、空が夏！



編集後記

2003年もあっという間に半分が過ぎ、もう夏本番も目前ですが適度に冷房を使いながら水分補給をしっかりと熱中症には気をつけましょう。私も登校時には日傘とハンディファンが欠かせません。

涼しい研究室で実験や院試勉強も頑張りましょう。

小池亜由梨(B4)